

【万田地区で優先的に取組むべき「対策の方向性」の順位と投票数】

投票数	対策の方向性
16	南新地の開発
11	防犯につながる活動
10	防災につながる活動
8	こくんぞさんのにぎわいを若い世代にもつなぐ
6	子どもを大切にする
4	様々なお祭り・行事のさらなる活性化
3	高齢者を支える
2	次世代の活躍を促す
2	「海達公子」をキーとした観光振興
1	ほしいものが地域で買えるまちに



万田地区 第三回ワークショップレポート

第三回のワークショップでは、第二回のワークショップで話し合った地区の目指す姿を実現するための取組みについて、市長を交えて、検討を深めました。

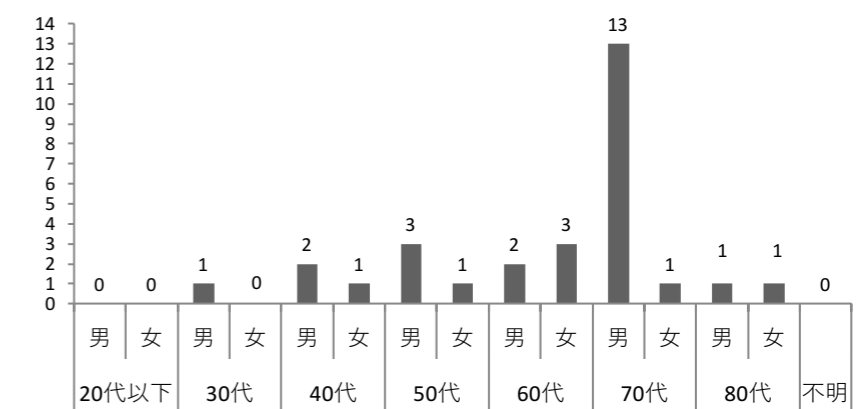
前半では、地域の課題や魅力などについて市長に発表した後、市長から、課題解決に向けた最近の市の取組みなどについて説明し、お互いの理解を深めました。

後半では、これまでまとめてきた「対策の方向性」について、先に実施すべきと思うものを参加者で投票（1人3票）し、優先的に取り組むべきことを明らかにしました。



日時：11月24日（日）19時～
場所：メディア交流館
参加者数：29名

【万田地区の参加状況】



■万田地区で取組みたい
「対策の方向性」について、
追加する具体的な取り組みの例

(地区全体の方針) **荒尾駅を中心にした活気のあるまち**

「便利で快適な」まち

より快適な荒尾駅へ

駅前の花植え・除草・清掃

夕方市の活性化

インスタ映えするスポットを駅につくる

★駅前に宿泊施設をつくる

★駅周辺の案内図をつくる

★国道208号と有明沿岸線を
高架で結ぶ

★荒尾駅を橋上駅に

★駅周辺ですごせる環境づくり

★駅からいろいろな場所への
アクセスをわかりやすく

★行きたくなるような駅に

★世界遺産最寄り駅にふさわしい景観に

ほしいものが地域で買えるまちに

地域で買い物をする

商店街に新しいお店がしやすい
仕組みをつくる

老人のための居酒屋

一人暮らしの人が行ける銭湯

南新地の開発

★南新地について情報をもっと

★荒尾駅との連携

★イベントホールで地域や観光客と交流

「災害・犯罪に強い」まち

防災につながる活動

避難所の確保

防災ネットワークづくり

防災訓練を行う

災害対策や防災マップをつくる

★助ける人を決めておく

★道路の木を切る

★地域ごとに防災訓練を実施

★LINEのネットワークを活用する
仕組みづくり

★防災に対する役員会の連絡網を使う

★道路の見直しをする

★浸水解消のための暗渠を大島線に設置

★高齢者の避難計画を立てておく

★外灯を増やして町を明るく

防犯につながる活動

防犯灯の管理

夜警の実施

登下校時の見守り

防犯カメラの設置

★大島公園の草刈りを年4回行う

★青パトの定期的な活動

★北新地の草刈りを年数回行う

★外灯経費の負担を考える

「にぎわいがある」まち

**様々なお祭り・行事の
さらなる活性化**

周辺にお祭り・行事への
参加を呼びかける

お祭り・行事に積極的に参加する

県境綱引きの復活

婦人会・老人会合同の
グランドゴルフ大会

★道の駅で地元の意見を募集

**こくんぞさんのにぎわいを
若い世代にもつなぐ**

役員だけでなくみんなで応援する

若者が好きなパフォーマーをよぶ

四ツ山までの道を整備

★特産品を売る

★万田小学校を
4時間授業にして祭りに呼ぶ

**「海達公子」をキーとした
観光振興**

歌碑巡りを地域観光の目玉にする

★西原神社と四ツ山神社と一緒にPR

★宮崎兄弟生家、植物園と一緒にまわる

★四ツ山神社を花の名所に

「つながりがある」まち

地域で声を掛け合える

「笑顔で」あいさつする

近所の人への目配り・気配り

★自治会加入案内の際、
市から必要性を伝える

次世代の活躍を促す

若い人が参加しやすいイベントをつくる

ICTを使った情報発信

若者と先輩の意見交換の場をつくる

ボランティア活動への参加を促す

★荒尾に定住したら10万円

★中学生が独居高齢者の家の
草取りなどをする

★家賃と一緒に自治会費を引き落とす

子どもを大切にする

子どもサロンの実施

子どもが安心して遊べる
公園や広場の整備

学校や子ども会と連携して
リサイクル活動などを行う

高齢者を支える

いきいきサロンの実施

独居の高齢者の見守り

★サロンが盛り上がるよう送迎バスを出す

★昔遊びの場を作る

★地域にいる特技がある方を巻き込む

★は追加された意見